

男女共同 参画のつどい inしもつけ

映画上映会

令和元年

7/27 [土]

午後1時～
受付・開場

- ・入場無料
- ・申込不要
- ・定員250名
(先着順)
- ・駐車場無料

【場所】

グリムの館

多目的ホール

(下野市下古山 747 番地)



©この世界の片隅に 製作委員会



◆第1部 午後1時30分～

イントロダクション

映画の見どころ紹介

映画の上映前に「この世界の片隅に」の見どころを紹介します。作品の時代背景や、作中で主人公のすずさんが出会うキャラクターの、それぞれの生き方に注目してみましょう。男女共同参画の視点から、すずさん達が生きた時代と、今わたしたちが暮らしている現代で、共通する点はどんなことでしょうか？

◆第2部 午後1時50分～

映画上映

「この世界の片隅に」

18歳のすずさんに、突然縁談がもちあがる。

良いも悪いも決められないまま話は進み、すずさんは故郷の広島市江波から呉へとお嫁にやって来た。見知らぬ土地で、海軍勤務の文官・北條周作の妻となったすずさんの日々が始まった。配給物資が減っていく中でも、優しい夫の家族とともに、すずさんは工夫を凝らして食卓をにぎわせ、衣服を作り直し、時には好きな絵を描き、毎日のくらしを積み重ねていく。

昭和20年3月。呉は、空を埋め尽くすほどの数の艦載機による空襲にさらされ、すずさんが大切にしていたものが失われていく。そして、夏がやってくる――。